

上 下 水 道 交 通 委 員 会
令 和 8 年 9 月 1 5 日
水 道 局

令和8年熊本地震における 水道局の活動について

1 概要

令和8年7月28日に熊本県熊本地方で発生した「令和8年熊本地震」による被害に対し、第一次隊から第四次隊まで計32名の水道局職員を派遣しました。



写真1 地域の方々に対する応急給水



写真2 医療機関への給水

2 支援の経緯

8月1日に公益社団法人日本水道協会※救援本部から関東地方支部に対して給水車10台の派遣要請がありました。

(1) 関東地方支部からの応援派遣の内訳

- ・東京都支部 2台（東京都水道局2台）
- ・神奈川県支部 4台（神奈川県企業庁1台、川崎市上下水道局1台、横浜市水道局2台）
- ・千葉県支部 2台（千葉県企業局2台）
- ・埼玉県支部 2台（さいたま市水道局2台）

※全国の水道事業体を正会員とした公益社団法人であり、災害時には、会員による相互応援活動を実施しています。7つの地方支部から構成され、横浜市は関東地方支部（1都7県）の支部長を務めています。

3 横浜市の応急給水隊の活動について

第一次隊は、8月2日に熊本県熊本市へ出発

第四次隊は、8月28日に横浜市に帰着

(1) 活動内容

現地災害対策本部からの指示に基づいて活動

横浜市は熊本県八代市及び宇城市の福祉施設や
医療機関等に対して応急給水活動を実施

(2) 活動体制

応急給水隊	派遣期間	派遣者数	車両台数
第一次隊	8/2～8/10	8名	給水車2台(3.5t車、2.0t車各1台) 先導車2台
第二次隊	8/9～8/18	8名	給水車2台(3.5t車、2.0t車各1台) 先導車2台
第三次隊	8/17～8/25	4名	給水車1台(3.5t車)、先導車1台
	8/17～8/21	4名	給水車1台(2.0t車)、先導車1台
第四次隊	8/24～8/28	4名	給水車1台(3.5t車)、先導車1台
	8/24～8/25	4名	給水車1台(2.0t車)、先導車1台



写真3 第一次応急給水隊出発式



写真4 現地での給水活動の様子

4 応急給水活動を踏まえた今後の対応について

今回の応急給水活動では、令和6年能登半島地震での経験を活かし、速やかな出動と円滑な活動開始を実現することができました。

また、現地での活動を通して、被災地での活動においては関係事業者との連携が重要だと再認識しました。さらに、応急給水活動が被災者の方々の生活を支える重要な取組であることを実感しました。

今回の経験を今後の災害対応に活かしていきます。

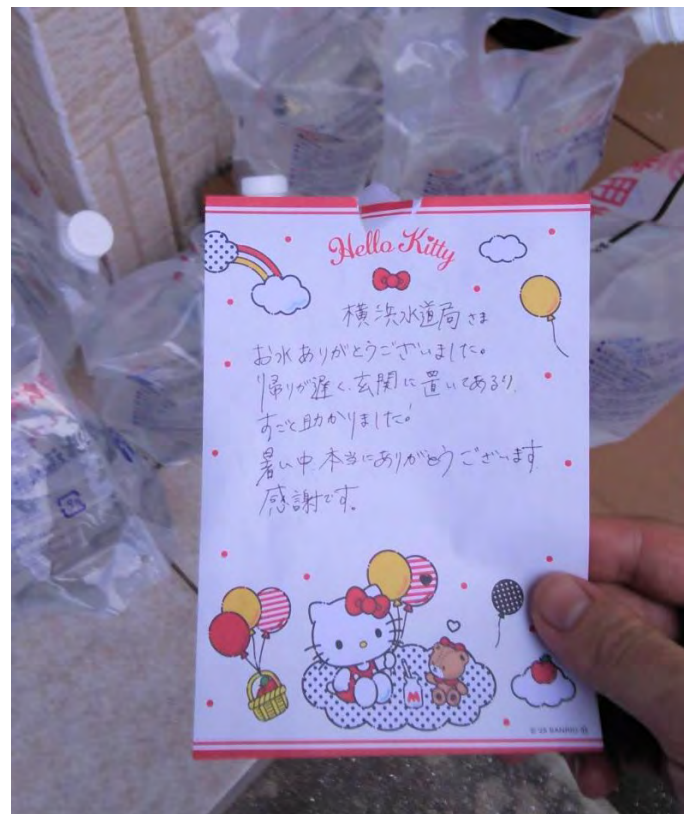


写真5 地域の方からいただいた手紙

【参考】令和8年熊本地震の概要

(1) 発生日時

令和8年7月28日 16時27分

(2) 震源地、震源の深さ及び地震の規模

- ・震源地 : 熊本県熊本地方
- ・震源の深さ : 16km (暫定値)
- ・地震の規模(マグニチュード) : 7.1 (暫定値)

(3) 各地の震度 (震度6強以上)

震度7 熊本県：宇城市、氷川町

震度6強 熊本県：熊本市、八代市、宇土市、美里町、益城町、嘉島町

(内閣府 防災情報のページ「令和8年熊本地震による被害状況等について」から引用)

【参考】令和8年熊本地震の概要

●令和8年熊本地震における断水状況

(内閣府 防災情報のページ「令和8年熊本地震による被害状況等について」から引用)

		断水戸数（戸）		【参考】世帯数（世帯） （8月1日時点）
		最大	横浜市の応急給水活動開始時 （8月3日時点）	
福岡県	柳川市	7	0	約27,000
佐賀県	太良町	41	0	約3,000
長崎県	南島原市	約439	0	約17,000
熊本県	熊本市	約20,970	約900	347,537
	八代市	約25,269	約25,269	58,117
	宇土市	約12,200	0	約15,900
	上天草市	約7,670	0	約10,800
	宇城市	約18,000	約15,575	約22,700
	天草市	約1,100	0	約35,000
	合志市	不明	0	約26,000
	御船町	約2,600	0	約6,800
	甲佐町	約500	約300	約4,100
	氷川町	約3,231	約3,231	約4,300
	芦北町	約1,000	0	約7,000
	人吉市	約15,000	0	約15,600
合計		約108,100	約 45,000	

※この他井戸水を利用している世帯あり（熊本県のR6年度の水道普及率は89.8%）